

# 学校だより

## ヒューストン日本語補習校

Japanese Educational Institute of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel. 281-531-6743 / Fax. 281-531-6795 (事務局 火~金曜日)

Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

### 中間考査などは評価の基礎資料

中高等部になると定期テストとして「中間考査」「期末考査」があります。本校の場合、前後期の2学期制を採用していますから、4回の定期テストがあることとなります。

このテストは大変に重要な意味を持っていて、通知表の評価・評定の最も大切な基礎的資料となります。勿論、通知表の評価・評定はこれら定期テストだけではなく、日頃の小テストや授業の際の状況、宿題など、多くの評価項目に基づいて評定がなされます。



小学部の場合には、單元ごとに実施される大判テストや学習内容の確認テスト、宿題など中高等部と同様の方法で行われています。

そして、学期末には学習状況についての評価・評定が行われていますが、通知表にはこの学習に関するだけの評価ではなく、補習校での生活状況についても記載することになっています。真面目で一生懸命に学習に取り組んでいる様子をキチンと評価します。

#### 【重くなる通知表の記載内容】

ところで、補習校には日本の学校で作成し、管理している学習指導要録がありません。しかし、近年帰国しての入試や転入試験等では、補習校での学習状況や出席状況などについての資料の提出を求める学校も出てきたことから、通知表が重要視されてきています。

本校の通知表の形態は、ほとんど学習指導要領と同形態を採用していますので、通知表のコピーでもって、



その要請にも応えることが出来るものと認識しています。

現地校と補習校の二つの学校で学習するのですから、日本の子どもたちの二倍の学習をすることになります。二つの学校での学習を両立させよう

と努力することが最高に素晴らしいことだと思っています。大変だとは思いますが、本校に学ぶ皆さんなら、必ず両立できると固く信じています。

### 一時帰国で学ぶ事

現地校が夏期休業に入る5月末頃から、例年、日本に一時帰国する園児、児童生徒が多く見られ、中には、日本の学校体験を希望する方もいらっしゃいます。

1ヶ月余りの学校体験で、学習の様子や色々な行事を目の当たりにすることになります。

体験先としては、元在学していた学校やご両親の帰省先の学校等があります。

そこで、「より豊かな体験」にするための心構えなどについて考えてみました。

#### 1. 広く日本を体験する

広くは、日本の国柄について実感することが大切です。日本は長い歴史と伝統のある国であり、また、四季がはっきりと分かれているなど季節感覚の豊かな国です。地方の特色が薄れがちであると言っても、方言や食べ物、物事に関する価値観も色々です。

そこで、帰国されましたら、歴史と文化が集積されている博物館や美術館、郷土資料館の見学を勧めます。史跡の見学も良いかと思えます。営々と築いてきた日本人の軌跡を実感してほしいと思えます。

#### 2. 家族、祖父母、従兄弟・従姉妹などとの交流

遠く日本を離れていたのですから、十分に旧交を温めることが肝要かと思えます。無条件での親しみも深まることだと思えます。血族・姻族との語らいも自己理解を深める上でとても貴重な体験となるはずで。また、話し合う上で、日本人としての感性を体得することにも繋がることだと思えます。更には、可能であれば、父母が生を受け育った土地柄を知ることも自己理解を深める上で大切なことかと思われ。ます。

#### 3. 健康診断

ここヒューストンは大変医学が進歩しているところですが、時間があれば是非とも健康診断や治療を受けた方が良いと思えます。私の場合は、言葉が十分でないので、一時帰国できれば、是非とも日本で受けたいと思っています。

#### 4. 図書等の購入

子ども達に読ませたい図書や参考書などを購入されたら良いと思えます。三水会センターにも図書は沢山揃っていますが、是非、本屋さんで図書を選択する体験もさせていただければ幸いかと思えます。日本語能力の維持と発展のためには大切かと思えます。

(裏面に続く)

## 5. 遠からず帰国される駐在員家庭の場合

折角一時帰国されたのですから、ゆっくりと郷里でお過ごしになりたいでしょうが、もし、時間があれば、是非とも帰国後、転入や進学出来たら良いと思われる学校を訪問してみてください。

転入や進学したい学校を調べるポイントを簡単に記します。

### ①学校周辺の様子を観る。

通学するのですから、学校周辺の様子(商店街、町の雰囲気、公共施設、自然など)と通学途中の児童、生徒の様子を観る。出来たら、学校周辺の住民に学校の様子を聞いてみるのも一考です。学校敷地内にゴミが散乱していないかも大切です。

### ②帰国後の住所は不明でも交通機関の状況を確認。

自宅から該当の学校まで、余りにも時間を要すると通学するには肉体的にかなりの負担となります。通学時間がかかりすぎると課外活動が窮屈にもなります。

### ③もし、学校訪問できたら。(必ず予約して・・・)

校長先生や教頭先生と話が出来れば幸いです。出来なかった場合には、入試担当の先生に色々とお尋ねになった方がよい。公立の小中学校の場合は、教務主任や総務主任の先生と話すが良い。

ポイントとして下記に列挙します。

ア、学校の教育目標と重点目標、特に力を入れている指導項目や学校が課題としていることなどを率直に伺うこと。

イ、わが子が伸び伸びと学校生活を送れそうか。

ウ、わが子の能力を伸ばさせてくれそうか。

エ、部活動の活動状況(大会成績等)を聞く。

オ、帰国子女枠の制度があるのかないのか。

カ、校舎内を見学できたらする。直接学習している児童生徒の様子を観る。

キ、もし、わが子が編入や入学が出来たら、卒業まで頑張ることが出来そうか。

ク、希望校に対して誇りが持てそうか。

ケ、高校の場合、中途退学生者の状況(人数や退学の理由等)を聞く。

コ、上級学校への進学状況を確認する。

サ、自分の学力に相当しているか。

シ、校則や制服などの有無について確認する。

### ④その他

生徒の下足箱があれば、観る。靴のはき方に乱れはないか。下足場所が綺麗に清掃されているかなど。

出来れば、数校見学できたら良い。学校要覧や入試要項等があればいただく。確認事項を明確にするため訪問前に事前調査をしておくといよい。

一時帰国される方は必ず、補習校に届を提出してください。よろしくお願い致します。

## 今、学級では・・・

中学部1年B組では、国語での「視点を変えて物事を見てみよう」という単元学習をふまえ、母の日の作文を書いてもらいました。「自分のお母さんを今までとは違った視点でとらえる」、という課題でした。

母

中1B 三浦治樹(佐藤学級)

ぼくは、お母さんのことを、宿題を手伝ってくれるやさしい人だと思っていたが、妹は、みんなの事をとても心配していると思い、父さんは、寝不足なのに宿題を手伝うなんてすごいなと思っている。

ぼくは、お母さんがしていることについて、ときどき当たり前だと思ってしまう。父さんは、ほとんど毎日「ありがとう」と言っている。そんなことから、思っていることが違うということが分かる。

僕は、自分と他人の考えが違うことが分かった。

## 《お知らせ》・・・「公開授業研究発表会」

6月11(土)、南部地区の補習校に勤務する先生方を対象にした「公開授業研究発表会」を本校で開催します。授業力・指導力の向上を目的とする授業研究を5時間目に開催し、引き続いて研究協議会が行われます。つきましては、当日の日課は5時限目までとなり、下校時刻が13時50分となります。お迎えの時刻が変更になっていますので、ご留意ください。ご理解のほどお願い申し上げます。

## ◆パトロール当番予定表5月28日◆

～よろしくお願ひします～

### 5月28日(土)の行事

PTAクラス委員会(1限目～)

歯の衛生指導教室(幼、小1、2年生 3限目)

茶道教室(小6年生 5、6限目)

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1	リーダー	小3	1 2 高橋拓夢
			1 3 竹内泰雅
			1 4 星野未宙
			1 5 甲斐水葵
			1 6 中村太紀
			2 6 村上モニカ
			7 1 8 有賀桃花
★PM1	リーダー	小3	1 9 砂田恵菜
			2 0 岡 奈津美
			2 1 嶋田 蓮
			2 2 野田愛理花
			2 3 イーグルソンえりか
			2 4 保阪明奈
			2 5 スティーブソン メーゲン

